

## 研究の実施に関する情報公開

鹿児島医療センターでは、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 29年 4月 10日

### D-dimer による Stanford A 型急性大動脈解離の予後予測評価の研究

#### 1. 研究の対象

2012年7月～2017年4月に当院にて Stanford A 型急性大動脈解離と診断された方

#### 2. 研究目的・方法・期間

急性大動脈解離は大動脈壁が二腔に剥離した状態で、急激な胸背部痛が出現します。重症化すると解離が冠動脈に進展し心筋虚血、心嚢液貯留や心タンポナーデを起こすので緊急外科手術が必要となります。なかでも Stanford A 型急性大動脈解離は予後不良とされ、急性期間内で約 70%～90%が死亡するといわれています。急性大動脈解離と他疾患との鑑別として D-dimer が有用とされています。しかし、D-dimer を用いた予後予測の研究は本邦にありません。

今回、私たちは Stanford A 型急性大動脈解離における D-dimer の予後予測の指標としての有用性について研究します。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液検査結果

#### 4. 外部への試料・情報の提供（複数施設研究の場合記入）

なし

#### 5. 研究組織（複数施設研究の場合記入）

なし

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

鹿児島市城山町8番1号 鹿児島医療センター

TEL 099-223-1151 FAX 099-226-9246

研究責任者 鹿児島医療センター 臨床検査科 氏名 岡村 優樹